

【 手術 】

351 透析シャント狭窄又は透析シャント閉塞に対するカテーテル等の算定本数について

《令和6年10月31日》

○ 取扱い

透析シャント狭窄又は透析シャント閉塞に対する次のカテーテル等の本数は、原則として1本まで認められる。

- (1) P T Aバルーンカテーテル（一般型・標準型）、（一般型・特殊型）
- (2) ガイドワイヤー

○ 取扱いを作成した根拠等

透析シャント狭窄又は透析シャント閉塞に対するシャントP T Aは、狭窄又は閉塞したシャント血管に向けてシースを挿入しガイドワイヤーを通した後、バルーンカテーテルで拡張等を行う手技であり、使用するP T Aバルーンカテーテル（一般型）やガイドワイヤーは通常1本である。

以上のことから、透析シャント狭窄又は透析シャント閉塞に対する上記材料は、原則として1本まで認められると判断した。